



東京都足立区辰沼 リサイクル工場

- 本社所在地：東京都足立区
- 事業概要：産業廃棄物の収集運搬・処理、一般廃棄物の収集運搬
- 常時使用する従業員：92名
(2025年6月時点)
- 現在の売上高：25億円
(2025年6月期)
- 法人番号：3011802018151
- Web：https://www.f-frontier.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
小森 康一

新施設建設を通じ、自社、業界、顧客の満足度向上を目指す

当社は創業以来、産業廃棄物の適正処理とリサイクルを通じて社会に貢献してまいりました。現在、都市部の廃棄物需要は増加の一途をたどっていますが、既存施設の処理能力は限界に達しています。このたび、大規模な中間処理施設を新設し、2拠点体制を確立することで、処理能力を飛躍的に向上させます。この投資は、単なる自社の成長に留まらず、業界全体の物流コスト削減や、最新鋭の機械導入によるリサイクル率の向上、そしてカーボンニュートラルの実現に寄与するものです。この成長を従業員に積極的に還元し、業界の「フロンティア」としてさらなる飛躍を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年の売上高100億円達成に向け、新たな中間処理施設の建設と保管施設の保有により、年率17%程度の成長を目指す。



課題

- ①新しい中間処理施設の建設
- ②人材の確保と高度なオペレーション教育。
- ③廃棄物処理の高度化（分別精度向上）に向けた技術開発の継続。
- ④広域的な「ハブ拠点」としての運用体制確立
- ⑤同業他社・地域社会との連携強化。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ①大規模投資：最新鋭の中間処理施設（15条施設）を建設。処理能力を既存より大幅に拡大。
- ②ハブ拠点化：新拠点のアクセスの利便性を活かし、全国の収集運搬業者が利用する「ハブ施設」としての地位を確立。
- ③高付加価値化：最新の選別ライン導入により、廃プラスチックや木くずの分別精度を高め、有価物売却益の増加と処分費の削減を両立
- ④関東一円に廃棄物の保管施設を数か所保有。上記中間処理施設との連携を取り、処理量を増加させる。

実施体制

- ①社長直轄のプロジェクトチームによる進捗管理と、外部コンサルタントによるモニタリング体制の構築。
- ②新拠点での新規雇用（20~40名規模）と、既存拠点の熟練スタッフによる技術承継。
- ③IT/IoT技術（GPS運搬管理、自動計量システム）の導入による業務効率化。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです